

# **元町まちづくりビジョン**

**【令和2年3月改定版】**

令和2年5月

札幌市東区元町まちづくり連合会



# 元町まちづくりビジョン【令和2年3月改定版】 目次

1. 元町まちづくりビジョンの改定にあたって	1
(1) まちづくりビジョンとは	
(2) ビジョンの改定経緯	
2. 元町地区の現状	3
(1) 地区の成り立ち、概況	
(2) 地域資源	
(3) 人口、世帯	
(4) 元町地区のこれまでのまちづくり活動	
3. 元町地区におけるまちづくりの課題	6
4. 元町の目指すまちづくりの姿と実現に向けた目標・取組	7
(1) 元町を目指すまちづくりの姿	
(2) 元町まちづくりビジョンの体系	
(3) 目指すまちづくりの姿の実現に向けた取組	
5. 元町まちづくりビジョンの推進に向けて	11



# 1 元町まちづくりビジョンの改定にあたって

元町地区では、現在、平成19年に「元町まちづくりビジョン」を策定し、目指すまちづくりの姿を「地域の自立と共生で実現する、ふれあいのある安心・安全なまち」と掲げ、お年寄りが笑顔で暮らせるまち、子どもたちの元気な声がひびくまち、いつまでも暮らしたいと思えるまちを目指して、地域の高齢者福祉、青少年の育成、防犯・防災、環境美化、健康づくりなどの地域活動を盛んに進めてきました。

近年では、更なる高齢化の進行、頻発する災害などへの対応や、地域活動の担い手不足、地域の特色あるまちづくりへの関心の高まりなどがみられ、これらに対応したまちづくりが必要となっています。

「元町まちづくりビジョン」を策定後、10年が経過したことから、社会動向等の変化をふまえ、これまでの活動状況を振り返り、現在の課題を明らかにして、今後、元町地区におけるよりよい地域づくりを進めるため、「元町まちづくりビジョン」を改定いたします。

元町まちづくり連合会

## (1) まちづくりビジョンとは ～ まちづくり活動の指針です ～

このビジョンは、元町地区のまちづくりに関する現状や課題を踏まえて、将来目指すまちづくりの姿を実現するために、**地域が進めるまちづくり活動の指針**となるものです。

また、地域だけでは対応が難しい取組について、**行政や民間事業者等と連携して取り組むまちづくりに関する意向**を示すものでもあります。

## (2) ビジョンの改定経緯 ～ 地域に関わる皆さんの提案により改定しました ～

現ビジョンの改定にあたり、**合計3回のワークショップを開催**して意見を出し合い、地区防災計画策定ワークショップ、元町会館前広場活用ワークショップでの意見も取り入れるなど、元町まちづくり連合会の会員のほか、元町地区の小中高生、地区外の高校、大学生などの**地域に関わる皆さんの提案をもとに**改定しました。



## 『地域の皆さんによる提案の経緯』

話し合いの具体的なスケジュールは以下のとおりです。



### 第1回 ワークショップ（令和元年9月14日）

#### 【見直しのポイントと検討テーマ、今後の課題、必要な取組】

現ビジョンに基づく取組状況を確認し、見直しのポイント、検討テーマについて話し合い、次回以降の話し合いに向けて、今後の課題、必要な取組について話し合いました。



### 第2回 ワークショップ（令和元年10月19日）

#### 【「高齢者等の見守り・交流」について意見交換】

「高齢者等の見守り・交流」について、現状、課題、今後必要な取組について意見交換し、まちづくりビジョンに記載すべき事項を洗い出しました。



### 第3回 ワークショップ（令和元年11月23日）

#### 【「未来へつなぐ元町のまちづくり（歴史・文化の継承、未来の担い手育成）」について意見交換】

「未来へつなぐ元町のまちづくり（歴史・文化の継承、未来の担い手育成）」について、現状、課題、今後必要な取組について意見交換し、まちづくりビジョンに記載すべき事項を洗い出しました。

### 地区防災計画策定ワークショップ

（令和元年7月～11月 全5回）

地区防災計画の策定に向けて、災害時の自助、共助等について意見交換を行いました。

### 元町会館前広場活用ワークショップ

（平成29年1月～令和2年2月 全4回）

元町交流広場（もっちゃん広場）※の今後の整備、活用について話し合うとともに、元町地区で今後必要な交流活動について意見交換を行いました。

※ワークショップでの意見をふまえ、元町会館前広場は、「元町交流広場（もっちゃん広場）」という名称となりました。

元町まちづくり連合会 総会にて承認

元町まちづくりビジョンの改定

## 2 元町地区の現状

### (1) 地区の成り立ち、概況 ～ 札幌村開拓の地から現在へ ～

元町地区は、1866年に元村街道が完成するとともに20戸70人が入植したのが始まりです。その後、1870年に札幌新村へ22戸96人が入植し、翌年、元村と札幌新村を併せて札幌村と改称されました。1880年にタマネギ栽培が始まり、一大産地となって地域の繁栄を支えました。戦後は札幌村が札幌市に合併され、元村が元町と栄町に分かれ、元町は都市化が進み、農地から住宅地へ変遷しました。

現在の元町地区は、札幌市東区に位置し、環状通と札幌新道、伏古拓北通、東15丁目屯田通に囲まれた地区で、地下鉄環状通東駅、元町駅、新道東駅の3駅があります。



### (2) 地域資源 ～ 重要な歴史資源が存在 ～

元町地区には、札幌村の開拓の祖である「大友亀太郎」、入植の始まりの地である「元村街道」、タマネギ発祥の源である「タマネギ(札幌黄)」、タマネギを貯蔵する「石造りの倉庫」、タマネギ栽培を支えた人々の生活に触れることができ、大友亀太郎の役宅跡でもある「札幌村郷土記念館」など、重要な歴史資源が存在しています。



資料：札幌市東区 HP

特に、札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡は札幌市指定の有形文化財、札幌市指定の史跡、北海道遺産として位置づけられ、札幌市のなかでも重要な歴史資源となっています。



資料：札幌市民交流プラザ HP

そのほか、緑資源としてのイチヨウ並木、しらかば並木、伏古拓北通(パープルロード)などや、元町図書館、東区温水プール、元町会館などの地区施設なども重要な地域資源です。



### (3) 人口、世帯 ～ 人口減少と少子高齢化 ～

元町地区の人口は、令和元年で 28,867 人となっており、東区の人口の約 1 割を超えています。これまで**人口は年々増加していましたが、令和元年には減少**に転じました。これにより、今後は、人口減少が進むことが想定されます。

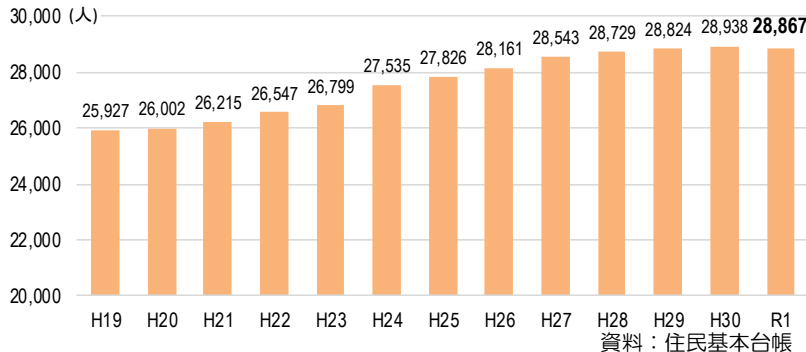


図1 元町地区の人口の推移

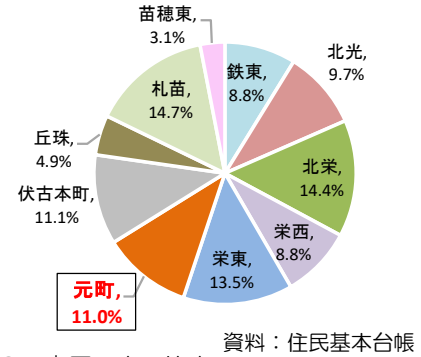


図2 東区の人口比率

年齢別の人口構成をみると、令和元年で 15 歳未満の年少人口率が 11.5%、15 歳以上 65 歳未満の生産年齢人口率が 64.9%、65 歳以上の老年人口率（高齢化率）が 23.6%となっており、**東区の中で最も高齢化率が低くなっています**。一方で、全市的な傾向と同様、**高齢化率が年々増加し、年少人口率が減少しているため、少子高齢化が進んでいます**。

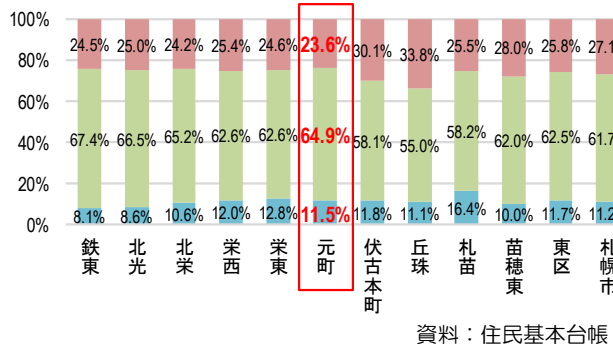


図3 東区の年齢別人口構成比

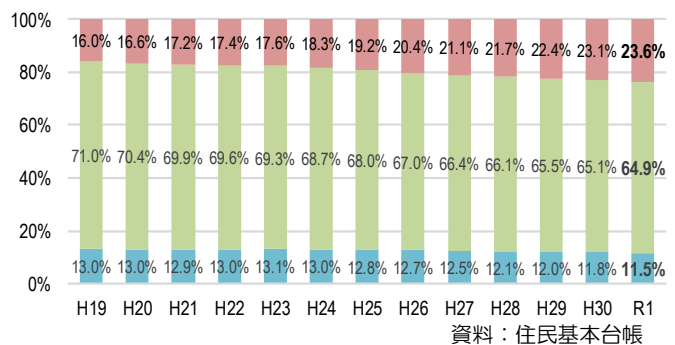


図4 元町地区の年齢別人口構成比の推移

世帯数は、令和元年で 16,312 世帯となっており、東区の世帯数の約 1 割を超えています。これまで**年々増加してきましたが、近年では、増加率が減少傾向**にあり、今後は、世帯数が減少に転じることが想定されます。

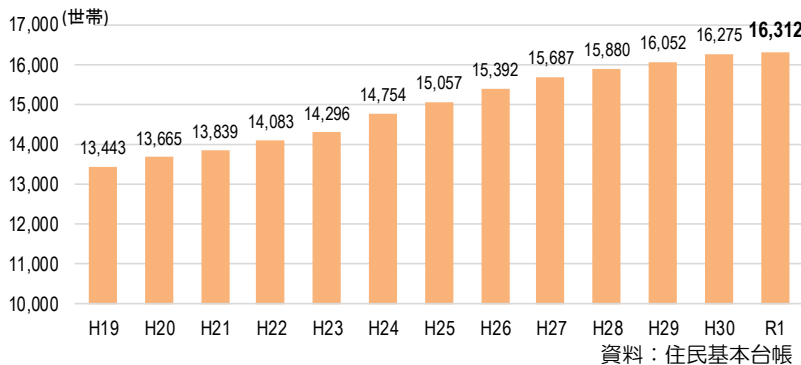


図5 元町地区の世帯数の推移

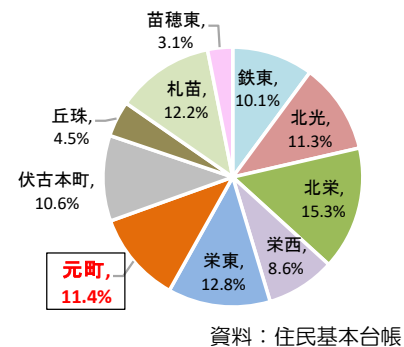


図6 東区の世帯数比率

※上記の住民基本台帳の数値は、各年 10 月時点のものです。

## (4) 元町地区のこれまでのまちづくり活動

元町地区では、平成 19 年に「元町まちづくりビジョン」を策定し、3つの将来像に向けてまちづくり活動を行ってきました。主な活動について、以下に示します。

①お年寄りが笑顔で暮らせるまち：お年寄りの生きがいがづくり、健康づくりについては多くの取組を実施していますが、暮らしサポートサービスの提供、語らいの場づくりについては、今後、充実を図る必要があります。

②子どもたちの元気な声がひびくまち：子どものイベントやお年寄りとの交流等、子どもたちの育成活動、子育てサロンについて、これまで多くの取組を実施しています。今後は、青少年向けの取組の充実や地域活動の担い手などの人材育成について、充実を図る必要があります。

③いつまでも暮らしたいと思えるまち：環境づくりや地域コミュニティに関する活動については継続的な取組を実施していますが、今後も、交流活動の充実を図る必要があります。

④現ビジョンに位置づけのない取組：現ビジョンに位置づけのない取組について、交通安全、防犯、防災、歴史・文化、元町会館前広場の活用に関する取組を実施しています。今後は、これらの取組についても、さらなる充実を図る必要があります。

<p><b>①お年寄りが笑顔で暮らせるまち</b></p> <p>◆暮らしサポートサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動についての意見交換</li> <li>・見守り活動アンケート調査</li> <li>・福祉マップ作製 など</li> </ul> <p>◆語らいの場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老の集い</li> <li>・高齢者サロン運営支援事業 など</li> </ul> <p>◆お年寄りの生きがいがづくり、健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング、みんなのタッピー体操</li> <li>・体力測定</li> <li>・各種講座 など</li> </ul>	<p><b>②子どもたちの元気な声がひびくまち</b></p> <p>◆子どものイベントやお年寄りとの交流等を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動動物園、おもちつき</li> <li>・音楽隊鑑賞会、やまびこ座公演</li> <li>・流しソーメンと収穫祭 など</li> </ul> <p>◆子どもたちの育成活動への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子地引網、ミステリーバス</li> <li>・元町の歴史を知る授業</li> <li>・世界体験ゲーム など</li> </ul> <p>◆子育て支援活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援人材育成研修会</li> <li>・子育てサロン（5か所、福まち事業）</li> </ul>
<p><b>③いつまでも暮らしたいと思えるまち</b></p> <p>◆地域のまちづくり活動の継続的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流会</li> <li>・出前講座 など</li> </ul> <p>◆潤い豊かな地域の環境づくりの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみゼロ・キャンペーン</li> <li>・元町会館花壇整備・維持管理</li> <li>・ECO施設視察研修 など</li> </ul> <p>◆地域コミュニティの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏、冬のふれあいまつり</li> <li>・女性部交流会、研修会 など</li> </ul>	<p><b>④現ビジョンに位置づけのない取組</b></p> <p>◆安全安心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全運動、交通安全教室</li> <li>・防犯パトロール</li> <li>・特殊詐欺等の研修会、防犯教室</li> <li>・安全・安心マップ等の作成</li> <li>・防災訓練</li> <li>・元町地区防災計画の策定 など</li> </ul> <p>◆歴史・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元町の歴史、文化啓発事業</li> </ul> <p>◆元町会館前広場の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップ、実行委員会</li> <li>・広場の美化活動 など</li> </ul>

### 3 元町地区におけるまちづくりの課題

現ビジョンの改定にあたり、元町地区におけるまちづくりの課題は、以下のとおりです。

#### 1. 高齢者や子育て世帯が安心して暮らせるまちづくり

元町地区では、全国的な流れと同様、少子高齢化が着実に進んでおり、今後も、さらに進むことが予測されます。1人暮らしの高齢者で地域の活動に参加できない方や、相談相手がない孤立した子育て世帯が少なからず想定されるため、身近な取組から進める見守りについて検討し、高齢者や子育て世帯が安心して暮らせるまちづくりを進める必要があります。

#### 2. 災害時の自助、共助

北海道胆振東部地震など、近年、災害が頻発しており、災害時の地域での対応がますます重要となっています。令和元年度に「元町地区防災計画」を策定したことから、計画の周知を図り、災害時の自助、共助を進め、あわせて、防犯、交通安全の取組も着実にを行うことにより、安全で安心して暮らせる地域づくりを行う必要があります。

#### 3. 子どもの育成、若い担い手の育成

これまでも活発に活動を行っている元町地区において、活動の担い手の高齢化、固定化は大きな課題となっています。一方で、近年、小中高生のまちづくり活動に対する意識の高まりも見られていることから、今後は、子どもの育成、若い担い手の育成が重要となります。

#### 4. 歴史、文化の継承

元町地区は、札幌村開拓の地として、大友亀太郎、元村街道、タマネギ（札幌黄）など、札幌市において歴史上の重要な資産を有しています。このような地域の特徴を活かし、今後は、これらの歴史的資産を有効に活用して、地域のまちづくりを進めていく必要があります。

#### 5. 多様な交流の推進

元町地区では、子ども関連のイベントや、お年寄りの生きがいづくり・健康づくりのイベントなどに多くの住民が参加し、活発な活動を行っています。また、元町会館の利用に加え、近年、元町会館前の元町交流広場（もっちゃん広場）の活用が進みつつあります。このような状況をふまえ、今後は、地域の交流拠点づくりや多様な交流の推進を図ることが重要となっています。

## 4 元町の目指すまちづくりの姿と実現に向けた目標・取組

元町地区の現状やまちづくりの課題等を踏まえ、元町の目指すまちづくりの姿と、その実現に向けた目標・取組を以下のように定めます。

### (1) 元町の目指すまちづくりの姿

元町の目指すまちづくりの姿は、平成 19 年に設定したものを引き継ぐこととし、改定後のビジョンにおいても、以下のように定めます

**地域の自立と共生で実現する  
ふれあいのある安心・安全なまち**



### (2) 元町まちづくりビジョンの体系

元町の目指すまちづくりの姿を実現するために、まちづくりにおける3つの基本目標を以下のように設定し、その達成に向けた取組項目を示します。

**地域の自立と共生で実現する ふれあいのある安心・安全なまち**

基本目標	取組項目
<b>目標1 安心して暮らせるまち</b> 高齢者等が地域の人々に見守られ、災害時の自助・共助により安心して暮らせるまちづくりを進めます。	見守り 防災・防犯 交通安全 環境
<b>目標2 未来へつながるまち</b> 元町の未来を担う子どもや若者などを育成し、元町の歴史・文化を継承しながら未来へつながるまちづくりを進めます。	子ども・青少年 歴史・文化
<b>目標3 ふれあいがあふれるまち</b> 元町交流広場（もっちー広場）や元町会館を交流拠点とし、多様なふれあいがあふれるまちづくりを進めます。	交流拠点 多様な交流

### (3) 目指すまちづくりの姿の実現に向けた取組

各目標を達成するため、以下の取組を実践し、まちづくり活動を進めていきます。

具体的な取組内容については、これまでの取組状況の見直しやワークショップで出された提案などを整理しました。

#### 目標1 安心して暮らせるまち

高齢者等が地域の人々に見守られ、防災、防犯、交通安全、環境などに関する取組が充実し、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

##### ①高齢者等を地域で見守る取組

身近な地域でのあいさつ、声かけや、高齢者サロンなどの交流活動によるゆるやかな見守り、町内会単位での見守りの仕組みづくりなど、高齢者等を地域で見守る取組を進めます。また、民生委員、福祉のまち推進センターなどとの連携体制を強化します。

##### 具体的な取組内容

- ・あいさつ、声かけ運動の実施
- ・高齢者サロン、老人クラブ、子育てサロンなどの充実など、交流活動の促進
- ・福祉マップの作製・活用などによる、町内会単位での見守りの仕組みづくり
- ・多様な連携による見守り体制の構築 など

##### ②安全に暮らせる地域づくり

元町地区防災計画に基づく取組などの防災対策、また、防犯対策、交通安全対策などをより一層進め、地域で安全に暮らせる環境づくりを行います。

##### 具体的な取組内容

- ・元町地区防災計画の周知、実施による災害時の自助・共助
- ・防災訓練の実施
- ・防災・防犯パトロールや防災・防犯教室
- ・交通安全運動、交通安全教室 など



##### ③潤い豊かな環境づくり

町内会単位で実施するごみステーションの美化、花植えなどの環境づくり、環境問題への対応など、潤い豊かな環境づくりを進めます。

##### 具体的な取組内容

- ・ごみゼロ・キャンペーン
- ・花植え・雑草取り等の環境整備
- ・環境問題等に関する研修、勉強会 など



## 目標2 未来へつながるまち

元町の未来を担う子どもや若者などを育成し、元町の歴史・文化を継承しながら未来へつながるまちづくりを進めます。

### ①子ども、青少年の育成

これまで活発に取り組んできた子ども向けのイベントの継続・改善、青少年向けのイベントの充実に加え、中高生が主体的に取り組む地域活動のための体制づくりなど、子どもや青少年について、将来の地域の担い手として育成する取組を重点的に進めます。

#### 具体的な取組内容

- ・子ども向けイベントの継続、改善
- ・青少年向けイベントの充実
- ・中高生等で構成するまちづくり活動実行組織の設置
- ・学校やPTA等との連携強化 など

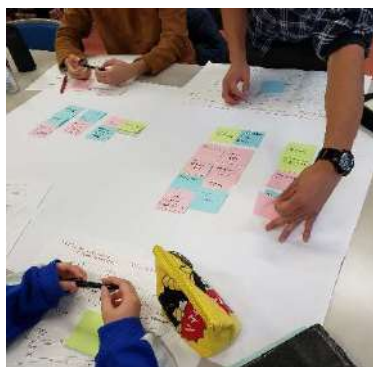


### ②歴史・文化の継承

札幌村開拓の地として、重要な歴史的資産を有する地域特性を活かし、元町の歴史・文化の普及・啓発、歴史的資産を活かしたまちづくり活動など、後世に向けて、歴史・文化を継承していくための取組を進めます。

#### 具体的な取組内容

- ・元町の歴史、文化啓発事業
- ・元町の歴史の語り部の育成
- ・歴史マップを活用したまち歩きなど、子どもを対象としたイベントの実施
- ・歴史パネル、歴史を記録したDVDなどの活用推進、新たなツール作成の検討
- ・学校等と連携した歴史を学ぶ機会の創出 など



## 目標3 ふれあいがあふれるまち

元町交流広場（もっちー広場）や元町会館を交流拠点とし、多様なふれあいがあふれるまちづくりを進めます。

### ①元町の交流拠点づくり

既に多様な利用がなされている元町会館に加え、近年、活用を進めている元町交流広場（もっちー広場）をより一層活用し、元町地区の交流拠点づくりを進めます。

#### 具体的な取組内容

- ・元町交流広場（もっちー広場）の美化活動
- ・元町交流広場（もっちー広場）を活用した交流イベントの充実
- ・小中高生が主体となった元町交流広場（もっちー広場）の活用促進のための取組 など

### ②多様な交流の促進

高齢者の生きがいつくり、子育てサロン、子どもが楽しめるイベント、青少年の交流などの同世代での交流、また、いきいき健康づくり活動などの多世代との交流、他地域との交流など、既存の交流イベントの充実や新たな交流イベントの検討などにより、多様な交流を促進します。

#### 具体的な取組内容

- ・敬老の集い、高齢者のいきがいつくり活動
- ・夏、冬のふれあいまつりの充実や、いきいき健康づくり活動のほか、子どもと高齢者の交流イベントの検討
- ・地域交流会、研修会、出前講座などの充実
- ・学校やPTA等との連携強化 など



元町交流広場  
（もっちー広場）の  
キャラクター  
もっちーだよ！



## 5 元町まちづくりビジョンの推進に向けて

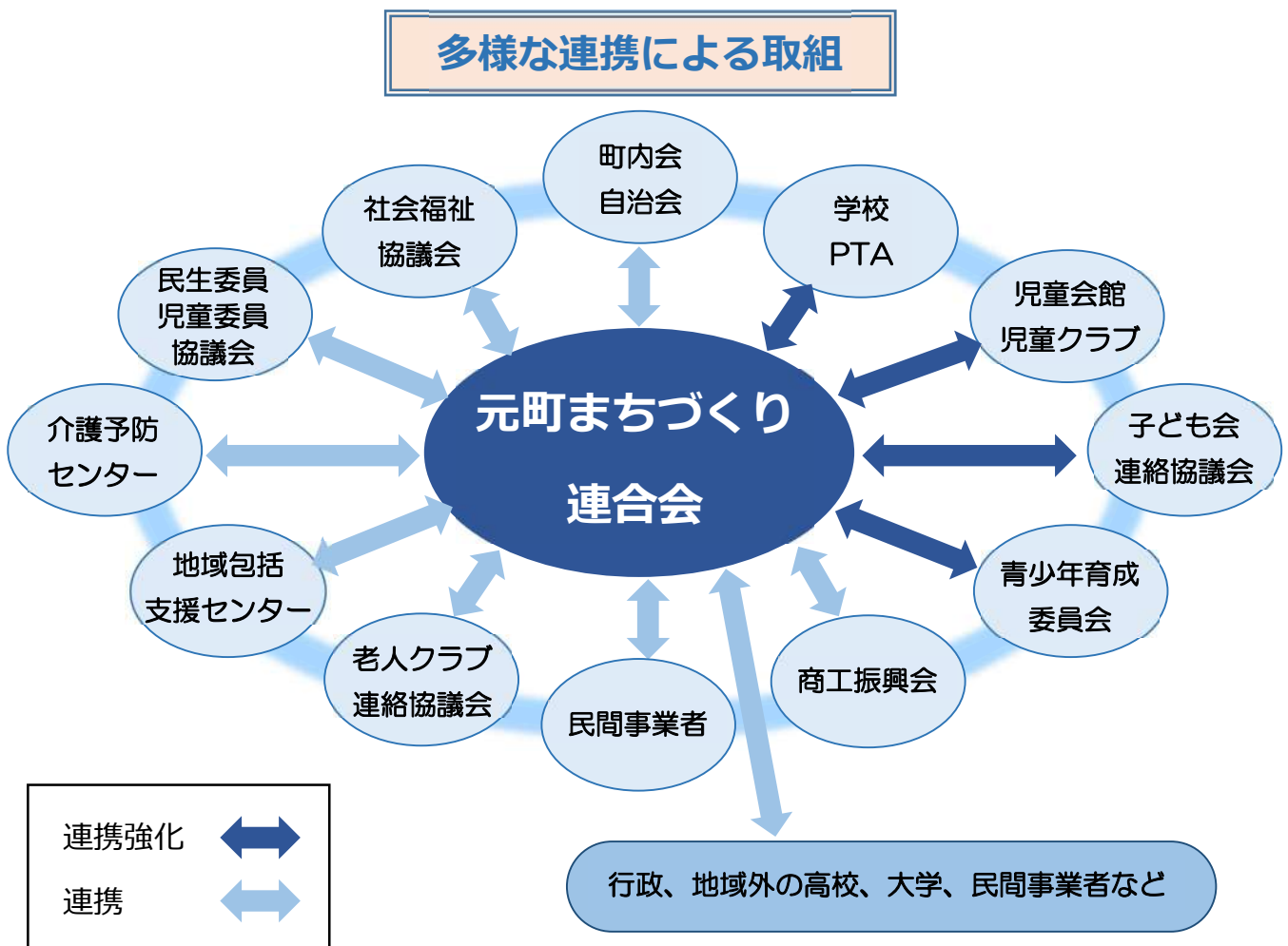
### ビジョン推進の考え方 ～ 多様な連携により取り組むまちづくり ～

まちづくりビジョンの推進にあたっては、元町まちづくり連合会の構成員である町内会・自治会、福祉関連団体等、児童会館・児童クラブ、学校などが十分に連携を図り、取組を進めていきます。

特に、近年、地域内の小中高生のまちづくり活動に対する意識が高まっていることから、学校等との連携を強化していきます。

また、地域だけでは対応が難しい取組について、行政、地域内の民間事業者などとも積極的に連携を図り、よりよい取組を推進していきます。

そのほか、地域外の高校、大学などとも可能な限り連携を図り、まちづくり活動の活性化を図っていきます。





元町まちづくりビジョン

【令和2年3月改定版】

令和2年5月

(作成)札幌市東区元町まちづくり連合会